

人の可能性を照らせ。



2023年2月1日
株式会社 QDレーザ

レーザ網膜投影機器 MEOCHECK(メオチェック)の発売を開始します

株式会社 QD レーザは眼の健康セルフチェック装置 RETISSA MEOCHECK (レティッサ メオチェック 以下 MEOCHECK) を発売します。MEOCHECK を事業所や商業施設に置いて、眼の健康チェックを手軽に実施することで、ご自身の見え方を把握することができます。

QD レーザは「視覚障がい者支援」「眼の健康維持」「視覚拡張」の3つの領域で、新しいレーザ網膜投影機器の製品化を進めております。この度発売を開始する MEOCHECK は「眼の健康維持」を目指す製品です。

【製品情報】

製品名: RETISSA MEOCHECK(レティッサ メオチェック)(写真1)

機能: 片眼1分程度の簡単な眼の健康セルフチェック。

発売日: 2月1日

同梱品: タブレット、タブレットスタンド、プリンター(オプション)

価格: 880,000 円(プリンターセット、税抜き)

: 830,000 円(プリンターなし、税抜き)

販売代理店: 株式会社日本眼科医療センター

<http://www.ganka-center.jp/>

製品詳細は <https://www.retissa.biz/retissa-meocheck> および

<http://www.ganka-center.jp/marketing/#products-original> を

ご覧ください。



写真1 MEOCHECK
(メオチェック)

【「目の健康維持」に役立つ MEOCHECK つきいちし〜や】

MEOCHECK は、「眼の健康維持」分野の製品です。

緑内障などの眼の疾患は初期段階で見え方に異常をきたすものが多いですが、見える方の眼が見え方を補うため自覚症状を感じにくいのが現状です。また、見え方の検査は通常、眼科にある検査装置で医師や国家資格を持つ医療技術者によって行われ、検査頻度は高くありません。疾患が進行してから発見され、手遅れになってしまうことが問題になっています。

MEOCHECK は眼科の視野検査装置などと比べて、小型で安価であるだけでなく、使い方も簡単で専門家の立ち合い・操作を必要としません。体重計や体温計のように家庭や事業所に設置し、短時間に見え方をセルフチェックできます。定期的なチェックをすれば、視野狭窄や視野欠損などの進行性の視野障害や、加齢に伴う眼の衰え(いわゆる「アイフレイル」)に早く気付くことができます。そのうえで、眼科を受診して治療を始めれば、病気や目の衰えの進行を遅らせることができると期待できます。

「つきいちし〜や」とは、定期的に眼のセルフチェックをすることで小さな変化に“気づき”、早期治療につなげる活動の名称です。

*「RETISSA」および「MEOCHECK」は QD レーザの登録商標です。「つきいちし〜や」は QD レーザと日本眼科医療センターの登録商標です。

*RETISSAMEOCHECK は医療機器ではありません。特定の疾病の検査、診断等を意図するものではありません。

【これまでの取り組み】

QD レーザはこれまでに、目の健康が業務上特に大切であるタクシー会社と、東北大学を含む国内大学・眼科病院と共に、事故防止・雇用維持・失明防止を目指した眼のセルフチェックシステムの構築を進めてきました。日本交通様、広島つばめ交通様等の御協力を頂き、1,000 人以上のタクシードライバーの眼の状態をMEOCHECK でチェックすることにより、自覚のない、加齢による視感度の低下を見出し、眼疾患の早期スクリーニング効果を検証しました^{注1,2)}。

注1:本研究は、厚生労働省、経済産業省、文部科学省が告示した「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて行っています。

注2:過去のリリース

<https://www.qdlaser.com/news/1071/>

<https://www.qdlaser.com/news/1102/>

<https://www.qdlaser.com/news/1060/>

<https://www.qdlaser.com/news/1032/>

<https://www.qdlaser.com/news/1017/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 QD レーザ 視覚情報デバイス事業部

メール:retissa@qdlaser.com